

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート 84 号』

「2019 年 年間統計」

森永乳業は、時代とともに変化する母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しています。このレポートでは、育児相談窓口「エンゼル 110 番*」への相談内容から、育児に関する傾向についてまとめています。

*エンゼル 110 番とは

「子育て奮闘中のお母さんたちのお役に立ちたい」という思いから、1975年5月に開設した育児相談窓口です。

2020年5月に45周年を迎えます。

今までにお受けした相談件数は約97万件(2019年12月時点)にのびります。2014年からはフリーダイヤルで相談を受けており、相談者は主にママですが、パパやおじいちゃん、おばあちゃんにも広くご利用いただいています。

今回は、2019年の年間統計をもとに、相談の傾向をレポートします。

【主な統計結果】

- 2019年相談件数は13,163件(前年比88.6%)、1ヵ月平均は1,097件。1通話の平均時間は16分5秒。2018年より33秒延びた。
- エンゼル 110 番の認知経路は「インターネットで検索」が増加し、55.5%と初めて半数を超えた。
- 相談内容のうち「相談者自身」だけが、2015年から毎年増加傾向にある。

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象 妊娠中～小学校就学前まで
相談員数 20名(保健師、管理栄養士、心理相談員など)
ウェブサイト <https://www.angel110.jp/>

エンゼル 110 番レポート VOL.84

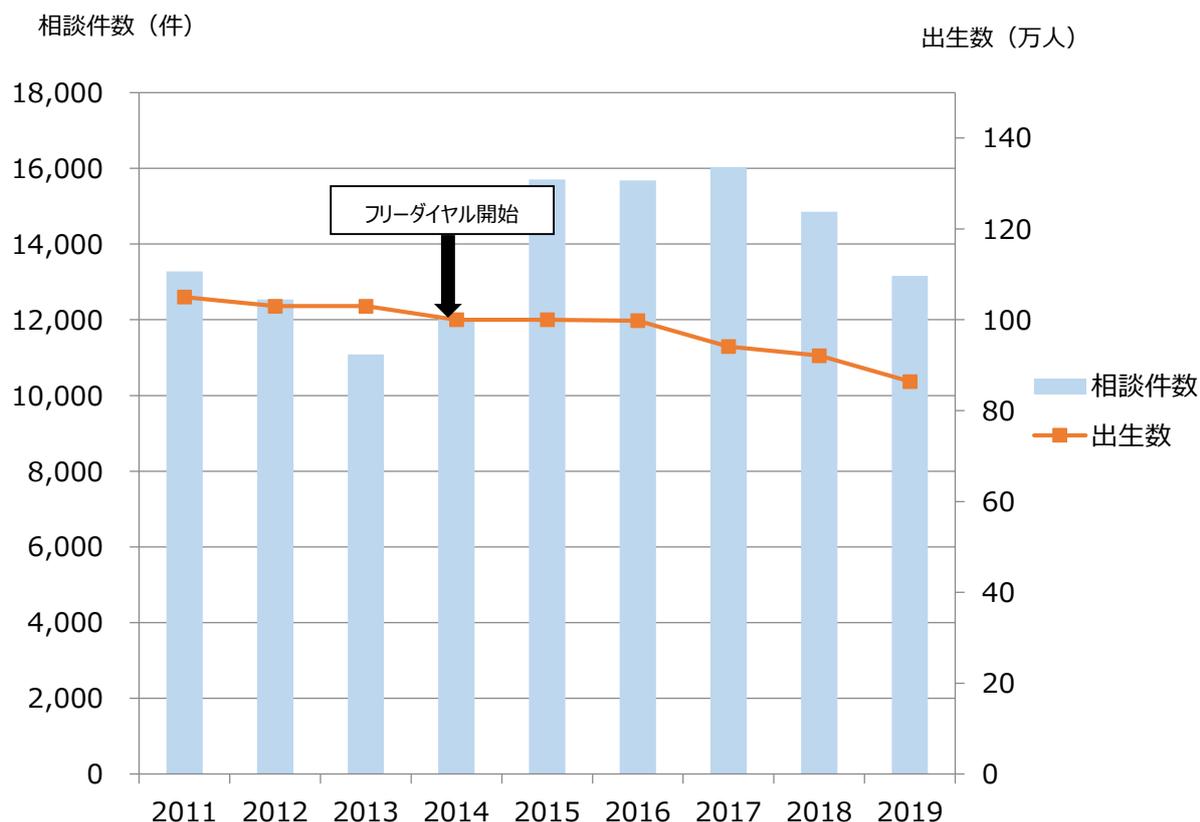
今回のテーマ「2019年 年間統計」

2019年出生数は過去最少の86万4000人。相談件数は減少するも相談時間は延長

2019年エンゼル110番で受けた相談件数は13,163件です。1ヵ月平均では1,097件、1日当たりでは41.4件でした。

2019年の厚生労働省人口動態統計の年間推計によると、出生数は過去最少の86万4000人(前年比94.1%)でした。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計」よりも1年前倒しで90万人を割り込む見通しとなりました。エンゼル110番の相談件数も前年から1,696件(前年比88.6%)減少しました(図1)。

図1 相談件数と出生数(2011～2019年)



ただし、1件当たりの平均相談時間は長くなり2017年に14分27秒だったものが、2018年には15分32秒、2019年は16分5秒となりました。また新規の相談が6,639件(50.4%)で、再相談が6,524件(49.6%)と、2018年に比べ再相談の割合が微増傾向にあります。(図2)。

図2 新規相談と再相談の割合(2014~2019年)

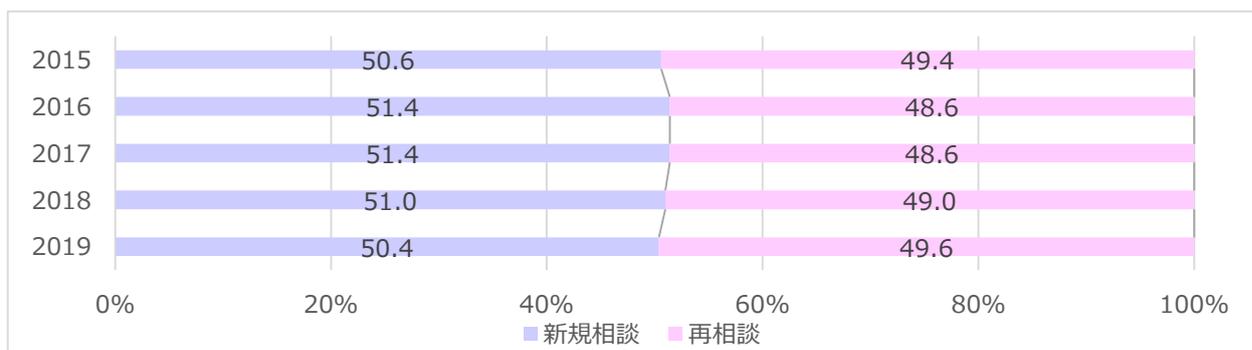
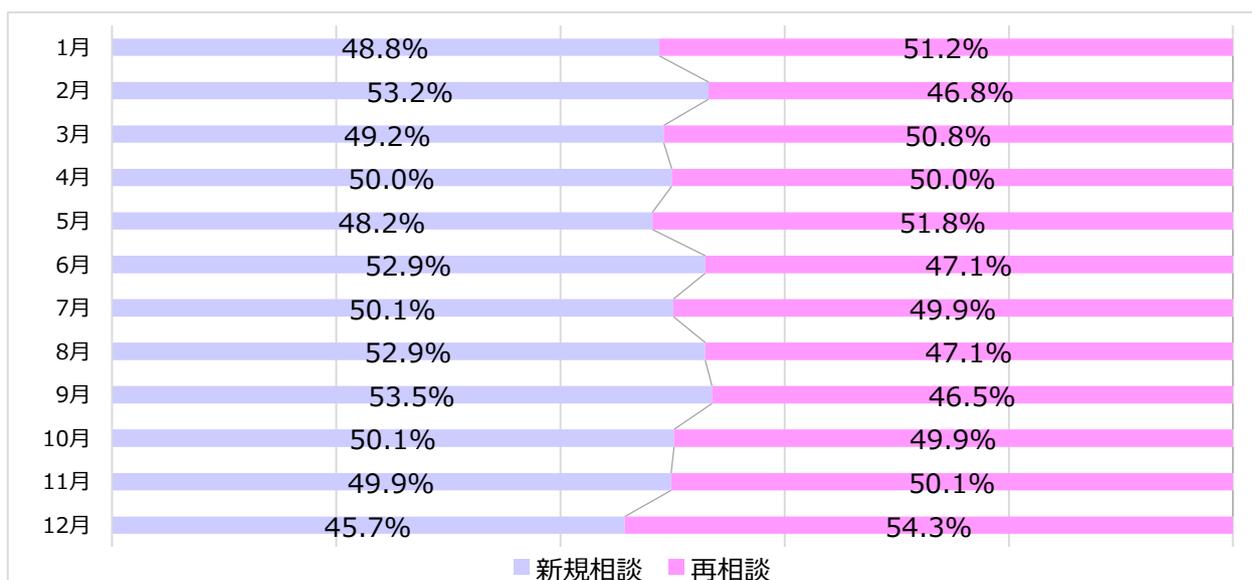


図3 新規相談と再相談の割合(2019年月別)



【増える再相談】

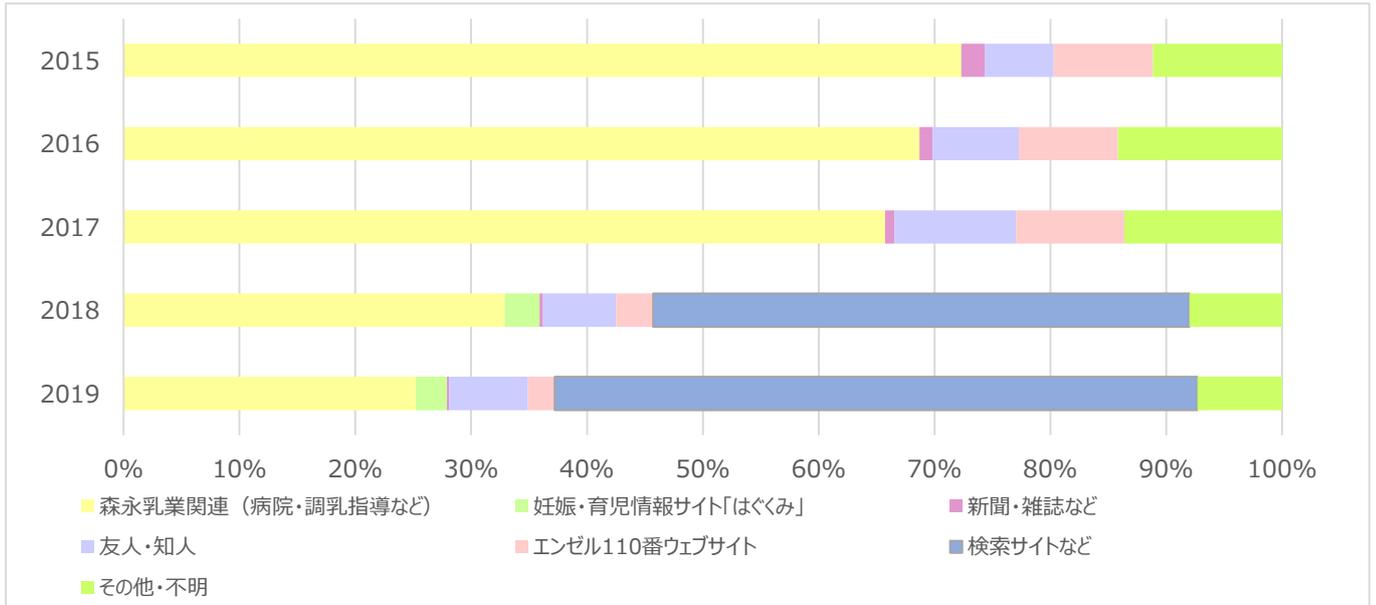
図2のように年間データを比較してみると再相談の割合の増加は小さいものの、2019年は月間で見ると再相談の方が多い月が約半分をしめるようになりました。

もともとエンゼル 110 番では、継続利用をさせていただくように名前代わりにする相談番号を相談者に伝えてきました。中には、兄弟3人で10年を超えるお付き合いになるママや3年を超えるお付き合いのパパもいます。お話の中でお子さんの成長もさることながら、ママやパパの成長ぶりを伺うのは喜ばしく、相談員一同活力をいただいています。

インターネットで『無料育児相談』と検索が半数を超える

エンゼル 110 番の認知経路としては、「検索サイトなど」が最も多く 55.5%を占めました(図 4)。「インターネットで『無料育児相談』と検索したら、一番上に出てきたので、電話しました」という声をよくいただきます。

図 4 認知経路(2015 年～2019 年)



ママからの相談が 95.9%を占めるも、パパからの相談が微増

相談者は 95.9%がママで、そのうち 30 歳代が 57.6%と半数を超えています。(図 5、6)
また、少数派にはなりますが、パパからの相談割合も微増しており、2019 年は全体の 2.1%を占め、0.6%だった 2004 年の約 3 倍に伸ばしました(図 7)。

図 5 相談者の属性(2019 年)

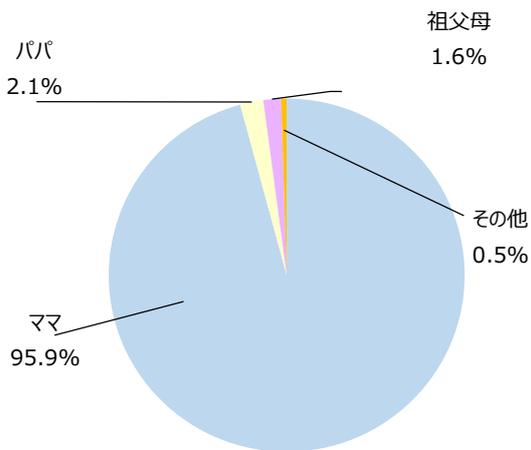


図 6 ママの年齢推移

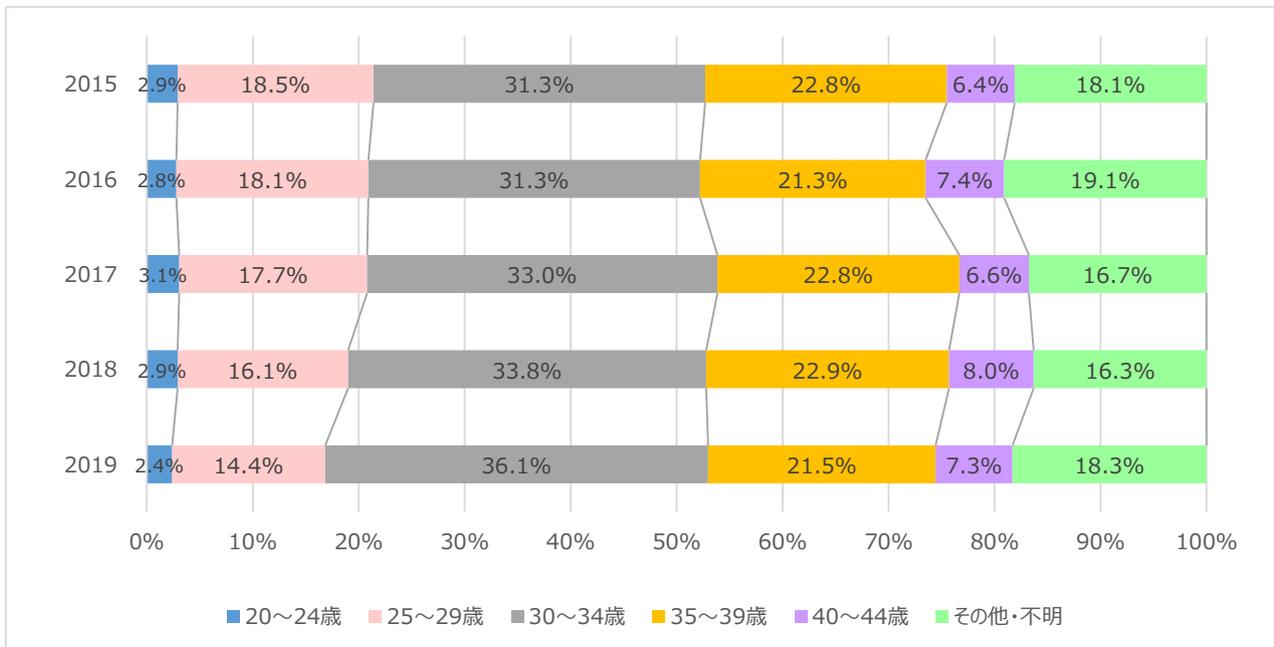
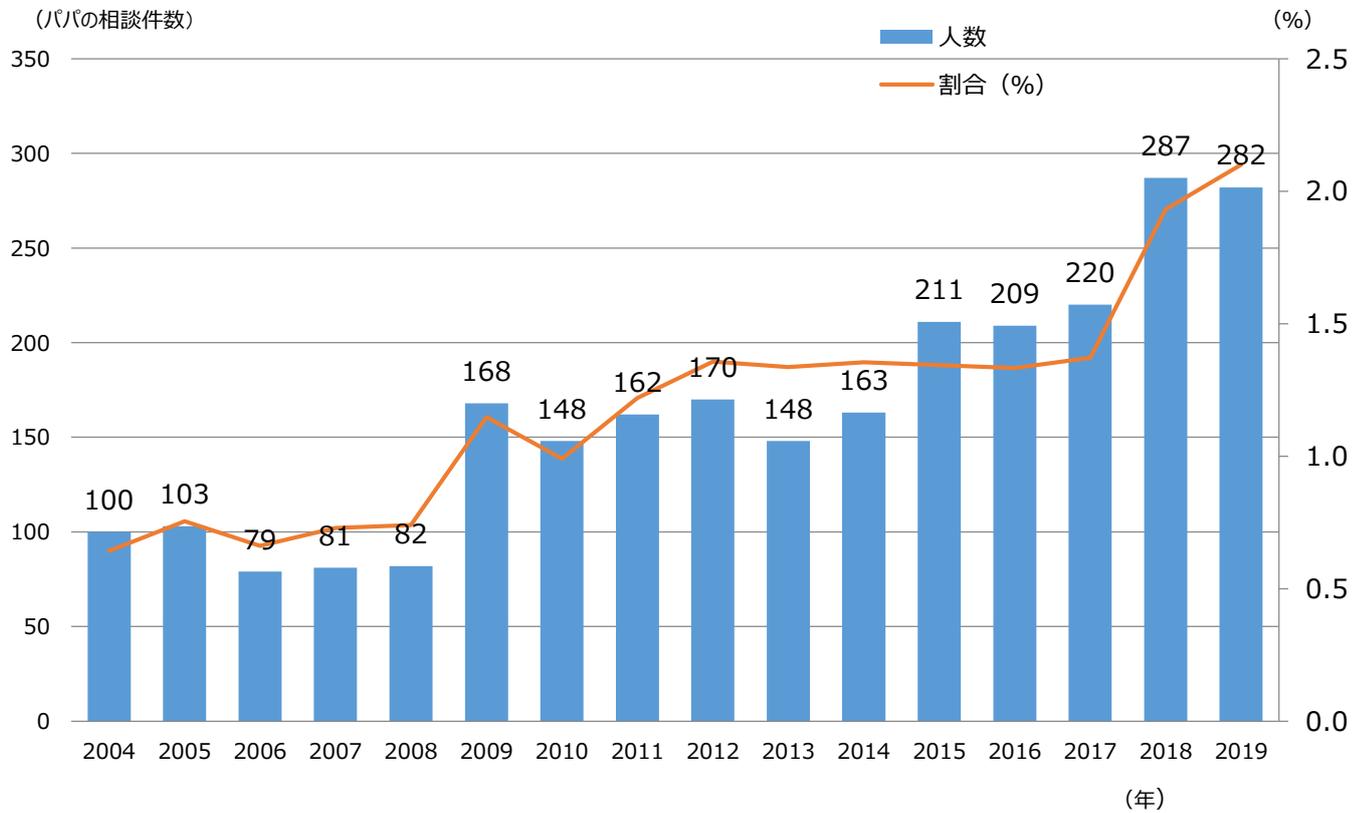


図7 パパの相談件数と相談件数に占める割合(2004～2019年)



【シングルマザーやステップファミリーも】

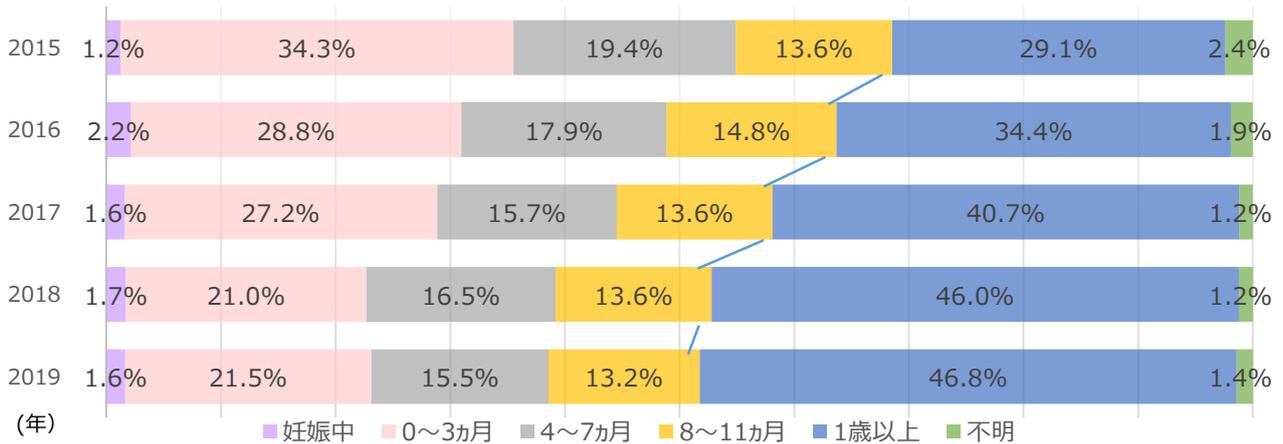
個人情報保護の観点から統計は取っていませんが、シングルマザーやステップファミリーからの相談が近年増えてきていると感じます。

パパママの離婚や再婚で生活環境が大きく変わり、お子さんも不安定になっている様子が見られました。夜泣きやおねしょ、吃音などの症状が見られる様子が伺えました。パパやママ自身も生活環境が変わり、ストレスを感じていたり、不安定になっていたりするケースも見られました。そのようなときは、ご自分を責めずに生活が落ち着いていくことを待つようお話していますが、相談内容によっては、地域の社会福祉協議会への相談をおすすめするケースもありました。

1歳以上が相談の46.8%を占める

相談対象である子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が46.8%を占めました。次いで月齢0～3ヵ月までの低月齢が21.5%でした(図8)。

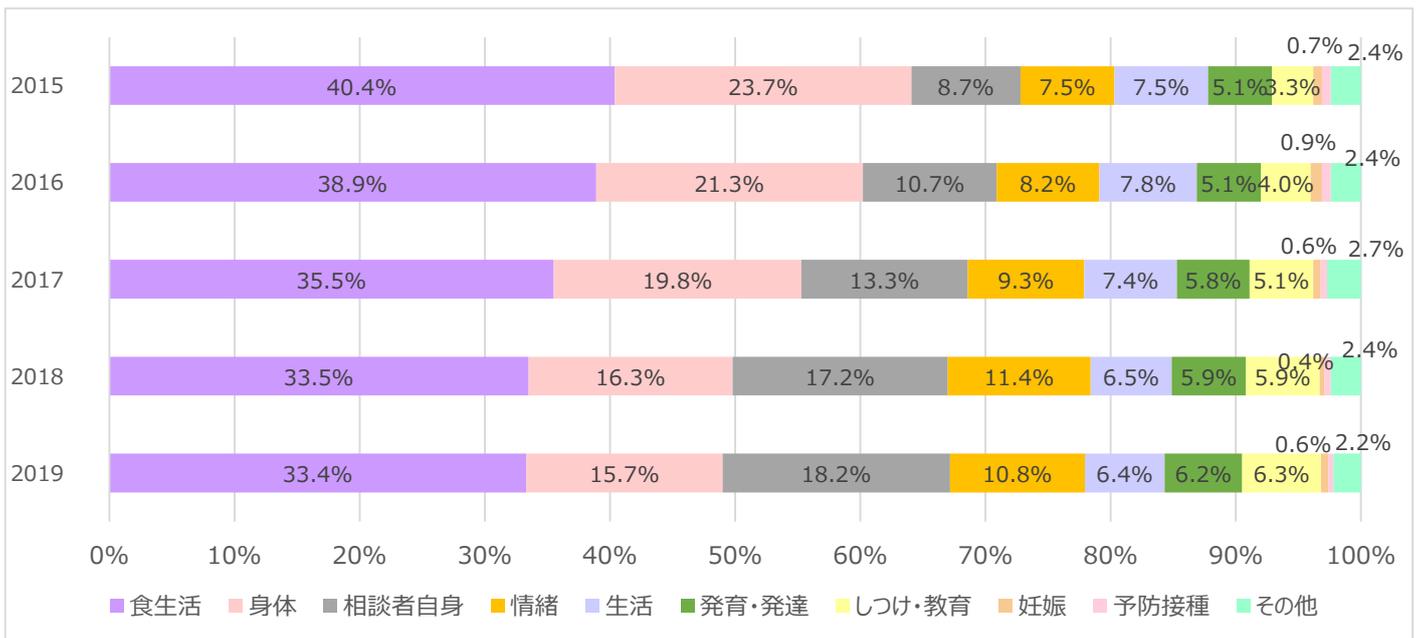
図8 子どもの月齢・年齢の割合の推移(2015～2019年)



「食生活」が最も多く33.4%、次いで「相談者自身」が18.2%で2015年の約2.4倍に増える

相談内容で最も多いのは、授乳や離乳食に関する「食生活」で33.4%でした。次いで多いのが相談者と子どもの関係や相談者自身のメンタルに関する「相談者自身」で、18.2%を占めています。ここ数年「相談者自身」が増加する傾向は続き、2015年の約2.1倍となりました(図9)。

図9 相談内容の割合の推移(2015～2019年)



2019年振り返って

2019年は2つの変化がありました。

1つ目は2019年6月に親から子への体罰を禁止し、児童相談所の体制強化を盛り込んだ「改正虐待防止法」が成立したことです。

エンゼル110番にも「上の子が泣いて、警察が来て事情を聴かれた。こんなに頑張って育児をしていたのに。」「双子の男の子がイヤイヤ期で痲癩がひどい。ママとお姉ちゃんがいり物に行く間に、パパと双子の3人で自家用車の中で待っていた。男の子が大泣きして警察官に事情聴取された」「1ヵ月前に児童相談所から2人来て、子どもを見せてくださいと言われた。育児に自信を失くした」といった相談がありました。子どもが亡くなる事件が報道されることもあり、社会的にも敏感になっていると思います。通報されることで、親は「子どもを泣かせてはいけない」と追いつめられたり、「親失格」と非難されたように感じたりする様子が伺えました。

2つ目は「授乳・離乳の支援ガイド」が12年ぶりに改定されたことです。

これにより、卵の摂取時期が生後5~6ヵ月頃と前倒しになりました。インターネットや本では改定前の情報が書かれていたため、混乱したママたちからの相談のお電話を多くいただきました。子育て中はいろいろなことを悩んだり、壁にぶつかりますが、エンゼル110番にお電話をいただくことで、少しでも心が軽くなれば、相談員も嬉しく思います。

2020年もエンゼル110番は子育てに奮闘するママやパパたちのお役に立てるよう、相談員一同真摯に取り組んでいきます。

エンゼル110番レポートのバックナンバー

1993年4月	第1号『離乳食』
1993年7月	第2号『初めての泊りがけ旅行』
1993年10月	第3号『胎教』
1994年1月	第4号『お年玉』
1994年5月	第5号『夫の育児参加と妻の満足度』
1994年8月	第6号『妊娠中の食事について』
1994年11月	第7号『育児雑誌を読みますか』
1995年2月	第8号『早期教育は必要ですか』
1995年5月	第9号『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』
1995年8月	第10号『どんな出産をしましたか』
1995年10月	開設20周年記念冊子『60万件の電話相談から』
1996年11月	第11号『子育て費用をどう考えますか』
1996年2月	第12号『子どものことを夫婦で話し合っていますか』
1996年10月	第13号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』
1996年12月	第14号『理想の父親像と母親像』
1997年4月	第15号『子育て中のお母さんの自由時間』
1997年6月	第16号『子どもを預けたことはありますか』
1997年9月	第17号『子育て中のストレス解消法』
1997年12月	第18号『かかりつけのお医者選び』
1998年4月	第19号『“格好いいお母さん”が当たり前？』
1998年6月	第20号『35歳からの子育て』
1998年9月	第21号『これからはママもパソコン使います』
1998年12月	第22号『35歳からの子育て パートⅡ』
1999年3月	第23号『実家とどうつきあっていますか』
1999年6月	第24号『子どものアレルギーについて』
1999年9月	第25号『子ども連れのお母さんが見た街作り』
1999年12月	第26号『子育てが楽しいと感じる時』
2000年3月	第27号『離乳食は得意ですか』
2000年6月	第28号『子育て仲間はどこで見つけましたか？』
2000年9月	第29号『子連れで海外旅行に行きましたか？』

2000年10月	開設25周年記念冊子『医療関係者向アドバイスブック』
2000年12月	第30号『私たちのミレニウム・ベビー』
2001年3月	第31号『ママたちのIT革命』
2001年6月	第32号『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか?』
2001年9月	第33号『妊娠してからの食生活の変化』
2001年12月	第34号『絵本の読み聞かせをしていますか』
2002年3月	第35号『育児日記をつけていますか』
2002年6月	第36号『ママたちの再就職事情』
2002年9月	第37号『テレビやビデオをどのように見せていますか』
2003年1月	第38号『夫の育児参加と妻の満足度(その2)』
2003年4月	第39号『子育てにインターネットを活用していますか?』
2003年7月	第40号『子育てコストとママの生活満足度』
2003年12月	第41号『ママたちの育児スタート 産後に望む支援サービス』
2004年4月	第42号『子育てママの喫煙・禁煙』
2004年9月	第43号『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
2004年11月	第44号『ママたちの産院選びと立ち合い出産の実態』
2005年3月	第45号『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか?』
2005年7月	第46号『赤ちゃんのアレルギー・気になりますか?』
2005年11月	第47号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか?』
2006年4月	第48号『子育てママの携帯電話活用法』
2006年7月	第49号『子ども連れて初めての泊りがけ旅行』
2006年11月	第50号『子どもは何人ほしい?』
2007年2月	第51号『子どもに習い事をさせますか?』
2007年8月	第52号『「3歳児神話」をしていますか?』
2008年1月	第53号『子どもを預けたことがありますか?(その2)』
2008年4月	第54号『「お母さんになったな」と初めて感じたのは?』
2008年9月	第55号『結婚前の料理経験はどれくらいですか?』
2009年1月	第56号『ここが困った!子連れ外出事情』
2009年5月	第57号『不況に負けない!ママの明るい節約術』
2009年9月	第58号『孫育て』

2009年11月	第59号『ママ友とのおつきあい、どうしていますか?』
2010年5月	第60号『夕食の献立どうやって考えていますか?』
2010年8月	第61号『子育て支援で、本当にしてほしいことは?』
2010年11月	第62号『パパはイクメンですか?』
2011年2月	第63号『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
2011年5月	第64号『育児日記をつけていますか?』
2011年9月	第65号『ママたちの節電対策』
2012年1月	第66号『今、大切にしたいもの』
2012年6月	第67号『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
2012年11月	第68号『子育てママのお正月』
2013年3月	第69号『名づけ』
2014年4月	第70号『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか?』
2014年12月	第71号『母乳への意識』
2015年4月	第72号『現代のママ事情』
2015年7月	第73号『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
2015年9月	第74号『子育てしやすい街の条件』
2015年11月	第75号『働くママの気持ちと職場の理解』
2016年6月	第76号『ママたちが活用しているアプリは?』
2017年1月	第77号『結婚前の料理経験はどのくらいですか?』
2017年7月	第78号『なぜ、今「電話相談」なのか』
2017年11月	第79号『ママたちのストレスとその解消法』
2018年3月	第80号『2017年 年間統計』
2018年8月	第81号『ママたちの育児スタートは?』
2019年2月	第82号『2018年 年間統計』
2019年10月	第83号『ここが困った!子連れ外出事情』
2020年3月	第84号『2019年 年間統計』